

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 7 月 18 日 (2013.7.18)

【公開番号】特開 2012-37765 (P2012-37765A)
 【公開日】平成 24 年 2 月 23 日 (2012.2.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-008
 【出願番号】特願 2010-178756 (P2010-178756)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

G 0 9 F 9/00 3 1 3

C 0 8 J 5/18 C E P

C 0 8 J 5/18 C E Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 6 月 5 日 (2013.6.5)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

偏光素子と、

前記偏光素子の表裏両面にそれぞれ張合されるトリアセチルセルロースからなる保護フィルムと、

前記保護フィルムの少なくとも表面側に配置された光配向材と、
 を備える光学部材において、

前記光配向材は、前記保護フィルムから発生する酢酸を放出する放出部が形成されてなることを特徴とする光学部材。

【請求項 2】

前記放出部は、開孔であることを特徴とする請求項 1 に記載の光学部材。

【請求項 3】

前記開孔は、直径が 40 μ m 以下の略円形の形状を有していることを特徴とする請求項 2 に記載の光学部材。

【請求項 4】

前記放出部は、前記光配向材面の表面積に対して、7 ~ 28 % の割合を占めていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の光学部材。

【請求項 5】

前記放出部は、光配向材を形成するポリマーを溶剤に溶解し、ついで前記ポリマーは不溶である揮発性物質を加えて調整した塗布液を、支持体に塗布乾燥して、前記溶剤の除去と前記揮発性物質の揮発を行うことにより、形成されたものであることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の光学部材。